## 添付資料1

コミュニケーションカ

プログラムで育むもの

教育観

自尊愿情

人とつながる

学びとつながる

コミュニケーション 多様性理解

学ぶ楽しさを 教える楽しさへ

自分とつながる

## 鬼馬次世代数買着成者(無器プログラム)

自分の考える教育について

生き方とつながる

# 夢を確かな目標につなげる~自分の目指す理想の教員像の構築~

## 問題プログラムのポイント

- ・高校生のキャリアデザインに資する内容にする。
- ・各回で受講生に伸ばしたい力を明確にし、その力を付ける内容にする。
- ・各回の中に必ず「交流」「体験」「振り返り」の時間を設ける。
- 「学習者」としての多様な経験が教育観を育むという観点から、「学ぶことの楽しさ」を基盤に 「教えることの楽しさ」につながる内容にする。
- 自ら考え、自らの言葉で表現する(書く、説明する等)活動を重視する。
- ・小学校教員や、教員を目指す大学生と交流する場を設ける。

			指導者としての基盤形成学習者としての成長																		
情熱・人間性			第1回 ガイダンス・教職へのビジョン	第2回 人間理解・他者理解を深める	第3回 郷土を愛することについて	第4回 外国語とコミュニケーション第5回 先生を目指す私		第6回 私も小学生だった 第7回 「理科」は好きですか		第8回 短歌・俳句を学び、作ってみよう他	第9回 大学生の間にやっておくべきこと	第10回 私の理想の先生像			前期プログラムでの学び	<ul><li>・ボランティア活動等目主的な体験</li></ul>	チ校 どの子ひ 英検等の資格取得 等 況:				
		があります。)	振り返る	振り返る ※各回の講座の 振り返りは必ず含む		これまでの自分の物の見 方、考え方について	郷土としての奈良の魅力に ついて	コミュニケーションの能力 とは何かについて	先生の仕事の奥の深さにつ いて	子どもの遊びや体験と発達 との関係について	自然科学をなぜ学ぶのかに ついて	人文科学・社会科学を学ぶ 楽しさについて	過去の経験と挑戦したいこ とのつながりについて	自分の理想の教員像につい て	ポートフォ		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・予及にの予り	・ ナベン ・ ナベン ・ ナベン ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
		(※変更になる場合があります。		体験する	理想の教員像についてス 教員になるための学びにつ ピーチを行う いて	道徳の模擬授業を受ける	奈良を紹介する模擬ス ピーチを行う	外国語活動の模擬授業を 受ける		発達段階に応じた懐かし い遊びを体験する	理科の実験を体験する	伝統的な定型詩の作成を 体験する 他	模擬プレゼンテーション	ブレゼンテーション			: : :	ない混出		巾	il li
		授業の形態等		次消する		自分とは違う考え方に出 会った経験について	小・中学校での郷土教育 の経験について	言語や文化と自分の関わ りについて	小学校現場の状況につい て現職教員との対話	自分の小学生の頃のエピ ソードについて	自分の好きだった教科や 単元について	作品を見せ合い、批評や 意見交換を実施 他	大学生の間に挑戦したい ことについて	プレゼン		前期修了認定について	各回の出欠を含む取組	各回の課題等の内容及の提出し、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	ノファノイーソコノ、翌番パートレメンエ・フポート		
第1期プログラム受講生の募集	第1期プログラム受講者の決定		(目標		をまとめ、ブログラムの	いても実行できないのは ることを理解する。	交流することを通じて、 さを理解する。	外国語を学ぶ楽しさに触 視点をもたせる。	分の長所、これから身に 。	振り返りながら考え、子 ることを理解する。	流し、学ぶ楽しさを教え 。	について交流し、学ぶ楽 をもたせる。	かを埋解し、学生の間に して意識化させる。	理想の教員像についての を説明できる。		前期側	· 回各·	· ·	1 1 1	- // •	
		各講座の内容及び目標			<ul><li>・自分の目指す埋想の教員像について考えをまとめ、プログラムの 参加に対する意識を高める。</li></ul>	<ul><li>・道徳的価値について、大切だと分かっていても実行できないのはなぜかや、価値に対する考え方は多様であることを理解する。</li></ul>	<ul><li>・奈良県の地域性や特徴についての考えを交流することを通じて、 郡土を誇りに思う心を育成することの大切さを埋解する。</li></ul>	・アクティビティ等を通して交流を深め、外国語を学ぶ楽しさに触 17、外国語教育の必要性を理解するための視点をもたせる。		・小学校6年間の発達特性を自分の成長を振り返りなから考え、 ども達が学ぶ内容は発達に即して定められることを理解する。		・人文科学や社会科学を学ぶ楽しさや意義について交流し、学ぶ楽 っさを教える楽しさにつなげるための視点をもたせる。	・これからの学校にどのような教員か必要かを埋解し、学生の ノておきたい学びや経験・体験等を目標として意識化させる。	・これまでの学びをもとに、自分の目指す埋想の教員像についての 変容や、埋想に近づくためのライフブランを説明できる。			検討中				
		担当大学等			· 物	K	教員養成 ジョップログラム 郷				奈良女子大学 · I 帝塚山大学 る3	大和大学 ・   奈良県教育 し	委員会・	· 🕸	実行委員会	実行委員会	県教育委員会	各学校等	県教育委員会	県教育委員会	県教育委員会
7	第1期プログラム受講希望者に対する面接の実施	キャリアデザイン に関する内容	生き方とつながる	キャリアデザイン (キャリア開発力)					0				0	0		前期修了認定	4	後	4	核計	
プログラムの概要を県内高校に発表		学習力・授業力(こ   キ† 関する内容 (1)	学びとつながる	学ぶ楽しさを キ   教える楽しさへ (1)   (専門的知識) (1)		0	0	0		0	0	0			オ含む)		引講	学校現場実習	(模擬授業等)	レポート・論文の作成、推薦図書に対する取組等	後期修了認定
		パーソナリティ・資質に関する内容	人 (仲間・社会) と つながる	コミュニケーション 多様性理解 (人間関係能力)		0	0	0	0	0	0	0	0	(ポートフォリ):	前期修了レポートの提出 (ポートフォリオ含む)						
			自分とつながる	自尊感情 (自己理解能力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	前期修了レポート		後期プログラムの開講		ワークショップ (柊	レポート・镭文の	
88 麗海口水紅					10/6	11/17	12/15	1/12	5/9	4/13	5/11	6/22	7/20	8/3	7	6	4	٠	7 姓		
				H30								H31						100	25日	<u> </u>	